

印刷新報

THE INSATSU SHIMPO

(月・木曜日発行) 第4267号 (昭和33年11月11日 第三種郵便物認可)

3月8日 月曜日

平成22年(2010年)

☆週二回刊☆

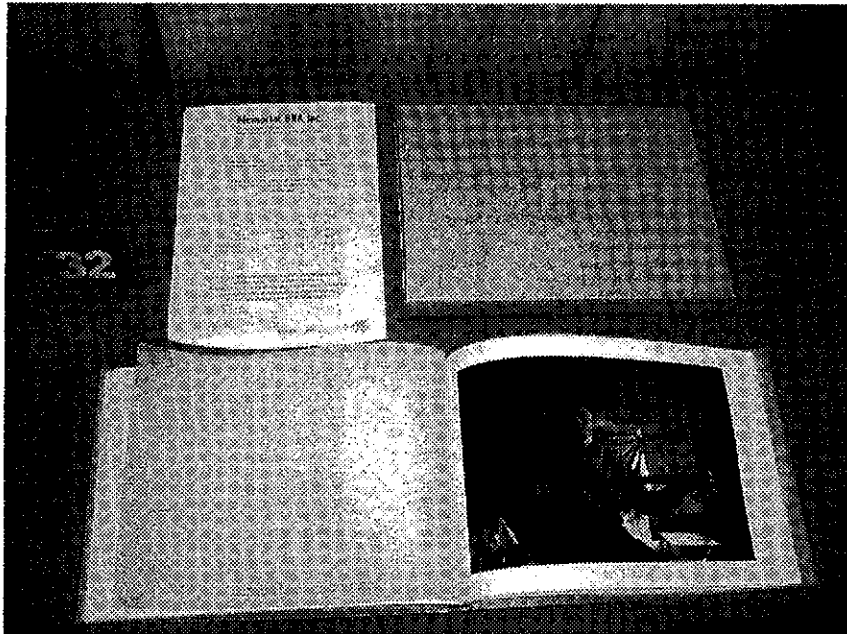
発行所 (株)印刷出版研究所
〒162-0041 東京都新宿区早稲田町5341 電話03(5155)7925
FAX: 東京03(5155)7930・大阪06(6353)4944
〒538-0044 大阪市北区東天満2-3-4 代田ビル 電話06(6351)4966
年間購読料19,370円(税込) (郵送料別) (0120-4-47973番)

ユーテックは、紙積と計数の省力化を提案します。

現場に、経営に環境にやさしい紙積み技術

MUTECH

株式会社ユーテック www.mutech1916.com



写真を印刷したインクに、被写体の本物のDNAが閉じ込められている。左上は名古屋大学工学部によるDNA鑑定証

月18日 東京都千代田区西神田コスモス館で開催された。

同セミナーは、日本サムソン株式会社宮田隆DMC事業部長を講師に招き、印刷業界のノウハウを応用し、デジタルサイネージを業界の提案材料にするための手法が

「ヒトや動物のDNAをインクに溶かして印刷する「DNA印刷」」。写真家トニー・タニウチ

最新技術を使い、消えゆく少数民族の記録を刻印した写真集『LINEAGE』に赴き、現地に密着し

「ヒト」に特化した専門業者や水平分業による機動性と効率化を図るオープンな競争によって今後の展開が広がる」と指摘。巨大な潜在市場である一般店舗へのデジタルサイネージ提案ツールとして、同社手がけるオーリンワン液晶ポスター

民族の証、インクに閉じ込め

ウイグル族を写した『LINEAGE』

DNA印刷で写真集

て写真を撮り溜めた。写真集に載せた被写体の一部は、当人の毛根や爪などから抽出したDNAを特殊インキに練り込んで印刷している。しかも、後々にも印刷したインクからDNAの再抽出が可能だという。つまり、個人あるいは民族の遺伝子の保存・再生が、まるでタイムカプセルのように印刷物で可能になる画期的な技術である。東京・板橋の恒信印刷(吉田和彦社長)が開発した。

印刷業界の会合でDNA印刷の話聞いたミヤプロ(本社・高松市)の宮寄佳昭社長が写真集に最適だと考え、長年の友人であるトニー・タニウチ氏に伝えたことから新疆ウイグル族の撮影行へとつながり、恒信印刷の協力で写真集の発刊が実現した。限定300部が1月末に完成している。

新疆ウイグル自治区は、中央アジアの文化圏に属しながら、歴史的に中国との政治・経済上のつながりが深く、ウイグル族のほか漢族、カザフ族など複雑な民族構成となっている。

「ニューヨーク国際ギフトフェア2010・冬」展の全印工連ブースに出展され、国際的にも意義を問うものとなった。

昨年7月にはウイグル族の中国政府への抗議デモから大規模な騒乱が発生。首都ウルムチでは、ウイグル族のデモ弾圧に動いた武装警察により死者150人以上を出す惨事となった。

『LINEAGE』は、優れた写真集であると同時に、電子化した情報社会に対し、有機物データの記憶ツールとしての印刷物のあり方を提案している。

なお、同作品は1月31日から5日間開催された「ニューヨーク国際ギフトフェア2010・冬」展の全印工連ブースに出展され、国際的にも意義を問うものとなった。



セミナーのもよ



新春フェアでデジタルサイ

格、共創的な仕組みを実現したことで、より多くの皆様に導入していただくことができるようになった。デジタルサイネージのロングテール需要は一般店舗であり、顧客に密着してニーズをよく理解している印刷業界の皆様こそビジネスのチャン

リンテック 「ウオルフのD」を

は、低コストでデジタルサイネージの火認定インクからD-プロを開始、同社インクや出力・国展開用のシステムなど、ラミネートフィルムなど、機器を店舗に販売し、水